携帯電話を使う

携帯電話を使う 186
ハンズフリー通話をする 186
ハンズフリー通話をするには 186
ハンズフリー通話でエコー
（残響音）が気になるときは 186
電話の受けかた 186
電話のかけかた 187
電話番号を入力して電話をかける 188
メモリダイヤルを呼び出して電話をかける ... 188
発着信履歴から電話をかける 188
リダイヤルで電話をかける 189
地図に登録された電話番号にかける 189
通話中メニューの操作 189
携帯電話情報を編集する 190
メモリダイヤルを読み込む 190
メモリダイヤルを消去する 191
履歴情報を消去する 192

携帯電話を使う

本機と携帯電話をBluetooth接続すると、本機の電話機能を使うことができます。

ハンズフリー通話をする

本機に携帯電話をBluetooth接続すると、ハンズフリー通話を行うことができます。

メモ

- 通話相手の音声が聞き取りやすいように、受話音量を調整してください。*(→P102)*

注意

- **安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周りの安全を十分に確認して通話は手短かに終了するようにしてください。**

ハンズフリー通話をするには

Bluetoothに対応した携帯電話が必要です。また、事前に携帯電話を本機に登録しておく必要があります。詳しくは*「通信設定をする」(→P95)*をご覧ください。

メモ

- 携帯電話をお使いになるときは、必ず*「通信機器使用上のご注意」(→P96)*をよくお読みください。
- 本機は、割込通話および三者通話サービスには対応していませんので、携帯電話側で操作してください。なお、割込通話や三者通話サービスのご利用中に本機を操作すると、通話が切れることがあります。

ハンズフリー通話でエコー（残響音）が気になるときは

エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声がマイクに入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する携帯電話、通話相手の環境によりエコーが発生する場合もあります。

以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- 受話音量を小さくする*(→「ナビゲーションの音量を設定する」(P102))*
- お互いに一呼吸おいて話す
- ガイド音声出力を助手席側のスピーカーのみに設定する*(→「ガイド/ハンズフリー SP設定をする」(P103))*

ただし、ナビ本体内部のエコーキャンセラーのしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。

メモ

- 通話中メニューで受話音量を調整することもできます。*(→P189)*
- 携帯電話によっては、一部機能が制限される場合があります。詳しくは、販売店へお問い合わせください。

電話の受けかた

電話がかかってくると、以下のような電話の着信を案内するメッセージが表示され、着信案内の音が流れます。



にタッチすると電話がつながり、通話することができます。

メモ

- 電話が着信すると"トゥルルルルル"という音が一度鳴って、着信を知らせます。
- 一部の携帯電話では、着信音がスピーカーから出力されないことがあります。
- 登録地に登録されている電話番号と一致すると、その地点の名称が表示されます。
- メモリダイヤル *(→P188)* に登録されている電話番号と一致すると、メモリダイヤルで登録された名称が表示されます（登録地とメモリダイヤルの電話番号が同一の場合は、登録地の名称が表示されます）。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。
- 携帯電話のボタンを押して電話に出ることもできます。
- 携帯電話側で応答保留にしても、 にタッチすることで応答保留を解除できます。
- 電話の切りかたは、*「通話中メニューの操作」(→P189)*をご覧ください。

ワイプで操作する場合：

電話着信中は、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」(→P16)*をご覧ください。



→ワイプ	通話することができます。
←ワイプ	電話を切ります。

電話のかけかた

いろいろな方法で電話をかけることができます。

1 メニュー を押し、携帯電話 にタッチする

2 電話をかける方法にタッチする



ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかけます。*(→P188)*
メモリダイヤル	本機に読み込まれた携帯電話のメモリダイヤルリストを呼び出して電話をかけます。*(→P188)*
発着信履歴	本機と携帯電話を接続時に発信、着信（不在着信含む）した履歴を表示し、電話をかけることができます。*(→P188)*
リダイヤル	直前にかけた電話番号へリダイヤルします。*(→P189)*

メモ

- 携帯電話のメモリダイヤルを本機に読み込んでいない場合は、メモリダイヤル は選択できません。
- Bluetooth Audio再生中に電話をかけるまたはメモリダイヤルを読み込む場合は、Bluetooth Audioの再生中止確認画面が表示されますので、はい にタッチしてください。
- 発信中、通話中は、画面左上に電話機のマークまたは通話中メニュー *(→P189)* が表示されます。

電話番号を入力して電話をかける

1 **ダイヤル発信** **にタッチする** **(→P187)**

2 **電話番号を入力し、** **発信** **にタッチする**



▼

相手先に電話が発信されます。

メモ

- 携帯電話でダイヤルすることもできます。（携帯電話によっては、ハンズフリーにならない場合があります。）

メモリダイヤルを呼び出して電話をかける

メモ

- メモリダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換える *(→P98)* と、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。

1 **メモリダイヤル** **にタッチする** **(→P187)**

2 **相手先を選んでタッチする**



3 **選んだ相手先に含まれる電話番号を選んでタッチする**



4 **はい** **にタッチする**

▼

相手先に電話が発信されます。

発着信履歴から電話をかける

1 **発着信履歴** **にタッチする** **(→P187)**

2 **表示したい履歴を選んでタッチする**



▼

選んだ履歴がリスト表示されます。

3 **相手先を選んでタッチする**

▼

相手先に電話が発信されます。

リダイヤルで電話をかける

1 リダイヤル にタッチする（→P187）

▼

発信確認のメッセージが表示されます。

2 はい にタッチする



▼

相手先に電話が発信されます。

メモ

- オプション設定（→*P118*）で「リダイヤル」を割り当てている場合は、✱（オプションボタン）を押して操作することもできます。

地図に登録された電話番号にかける

検索した施設情報に収録されている電話番号や登録地に登録されている電話番号に電話をかけることができます。

1 場所を探して（→P44）施設の詳細情報（→P50）を表示させる

2 発信 にタッチする



▼

登録されている電話番号にダイヤルします。

通話中メニューの操作

通話中は、通話中メニューが自動的に表示され、受話音量の調整やハンズフリー機能のON/OFF、電話を切る操作を行うことができます。



戻る	通話中メニューを閉じます。
＋	受話音量を上げます。
－	受話音量を下げます。
電話を切る	電話を切ります。
ハンズフリーON（OFF）	ハンズフリー機能をON/OFFします。携帯電話機で通話したいときは、OFFにします。

メモ

- ハンズフリー機能をOFFにすると、本機と携帯電話とのワイヤレス接続が切断される場合があります。
- 戻る にタッチして通話中メニューを閉じた場合、画面左上の［携帯電話アイコン］にタッチすると通話中メニューを再表示することができます。
- 携帯電話で電話を切ることもできます。

携帯電話情報を編集する

メモリダイヤルの読み込みや消去、各履歴の消去を行うことができます。

1 メニュー を押し、携帯電話 にタッチする

2 編集・消去 にタッチする

▼

編集・消去メニューが表示されます。



メモリダイヤル	メモリダイヤルの読み込みや消去を行います。(→P190, 191)
発信履歴消去	発信履歴を消去します。(→P192)
着信履歴消去	着信履歴を消去します。(→P192)
不在着信履歴消去	不在着信履歴を消去します。(→P192)

メモリダイヤルを読み込む

メモリダイヤル機能を使用するには、事前に携帯電話に登録されているメモリダイヤルを本機に読み込んでおいてください。
携帯電話から最大1 000件のデータを本機に読み込むことができます。

メモ

- Bluetooth Audio再生中に携帯電話からメモリダイヤルを読み込む場合は、Bluetooth Audioの再生中止確認画面が表示されますので、はい にタッチしてください。
- お使いの携帯電話によっては、メモリダイヤル転送に対応していない場合があります。
- 名前、電話番号のデータを読み込むことができます。
- メモリダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換える(→P98)と、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。
- 読み込んだデータは本機内蔵のメモリーに保存されます。
- 読み込んだメモリダイヤルを編集することはできません。
- メモリダイヤルの消去方法は、「メモリダイヤルを消去する」(→P191)を参照してください。
- 1人あたり複数の電話番号を登録できる携帯電話では、電話番号の登録状態や機種によって、全データを読み出せない場合があります。

1 メモリダイヤル にタッチする (→P190)

2 読み込み にタッチする



メモ

- すでに読み込んだデータがある場合は、上書き読み込み または 追加読み込み を選んでください。

3 携帯電話を操作して、メモリダイヤルを転送する

▼

メモリダイヤルが本機に読み込まれます。
読み込みが完了するとメモリダイヤルリスト画面に戻り、読み込んだデータをメモリダイヤルとして使用することができるようになります。

メモ

- メモリダイヤル読み込みを行う際は、接続されている携帯電話からメモリダイヤル転送の操作(携帯電話により異なりますが、全件転送、1件転送などがあります)が必要です。

- PBAP接続（→P96）に対応した携帯電話の場合、**読み込み**にタッチした時点で、携帯電話側の操作なしで本機にメモリダイヤルが読み込まれます。お使いの携帯電話によってはアクセス許可を認めるかの表示が携帯電話側に表示されます。またPBAP接続の場合には自動で上書き読み込みされます。追加読み込みはできません。
- メモリダイヤルの転送が終了すると、追加読み込みを行うかどうかのメッセージが表示されます。追加で読み込む場合は、**はい**にタッチしてください。
- 保存される情報の種類や文字数、メモリー件数は、携帯電話によって異なります。
- お使いの携帯電話によっては携帯電話のシークレット機能により登録されたメモリダイヤルも読み込まれます。
- 携帯電話の自局番号もメモリダイヤルと同時に読み込まれる場合があります。

メモリダイヤルを消去する

不要になったメモリダイヤルを消去することができます。

メモ

- 本機に記録されているメモリダイヤルが消去されます。接続した携帯電話側のメモリダイヤルおよび履歴情報は消去されません。
- 消去可能なメモリダイヤルは、現在本機に接続中の携帯電話から読み込んだもののみです。接続する携帯電話を切り換える（→P98）と、消去可能なメモリダイヤルの内容も切り換わります。
- メモリダイヤルの消去中は、メモリダイヤル機能（→P190）が使用できません。

1 **メモリダイヤル**にタッチする（→P190）

2 **消去** にタッチする



3 消去したい電話番号にタッチする



▼

選んだ電話番号には、✓（チェックマーク）が付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- **全選択**にタッチするとすべての電話番号が選択されます。**全解除**にタッチすると、選択されている電話番号すべてを解除します。

4 **消去** にタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

5 **はい** にタッチする

▼

選んだ電話番号が消去されます。

メモ

- メモリダイヤルの消去には、数分かかる場合があります。
- メモリダイヤルの消去中は、本機の電源をOFF（エンジンスイッチをOFF）にしないでください。選択したデータが消去されない場合があります。

履歴情報を消去する

発信履歴、着信履歴、不在着信履歴情報を消去することができます。

メモ

- 接続する携帯電話を切り換えると、その携帯電話を使用したときの発着信履歴を消去することができます。
- 携帯電話の登録が削除された場合は、その携帯電話を使用したときの発着信の履歴も、自動的に削除されます。

1 消去したい履歴項目を選んでタッチする（→P190）



2 消去したい履歴情報にタッチする



▼

選んだ履歴情報には、（チェックマーク）が付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- **全選択** にタッチするとすべての履歴情報が選択されます。**全解除** にタッチすると、選択されている履歴情報すべてを解除します。

3 消去 にタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

4 はい にタッチする

▼

選んだ履歴情報が消去されます。